令和８年度全国高等学校総合体育大会
第76回全国高等学校スキー大会　実施要項

主　　催　（公財）全国高等学校体育連盟　（公財）全日本スキー・スノーボード連盟
秋田県　秋田県教育委員会　鹿角市　鹿角市教育委員会

共　　催　読売新聞社

後　　援　スポーツ庁　（公財）日本スポーツ協会　ＮＨＫ
（公財）秋田県スポーツ協会　ＮＰＯ法人鹿角市スポーツ協会

主　　管　（公財）全国高等学校体育連盟スキー専門部　秋田県高等学校体育連盟
秋田県スキー連盟　鹿角市スキー連盟

１　期　　日　令和９年２月５日（金）～ ２月８日（月）
（１）開会式　令和９年２月５日（金）
（２）競　技　令和９年２月５日（金）～２月８日（月）
（３）閉会式　令和９年２月８日（月）

２　会　　場

（１）開会式	鹿角市文化の杜交流館「コモッセ」
（２）競　技	
アルペン	花輪スキー場ジャイアントコース
クロスカントリー	花輪スキー場クロスカントリーコース
スペシャルジャンプ	花輪シャンツェ
ノルディックコンバインド	花輪シャンツェ 花輪スキー場クロスカントリーコース
（３）閉会式	鹿角トレーニングセンター「アルパス」

３　種　　目

男 子	・ジャイアントスラローム ・スラローム ・クロスカントリー10ｋｍ（クラシカル） ・クロスカントリー10ｋｍ（フリー） ・スペシャルジャンプ ・ノルディックコンバインド ・リレー（10km×４人　１・２走クラシカル　３・４走フリー）
女 子	・ジャイアントスラローム ・スラローム ・クロスカントリー５ｋｍ（クラシカル） ・クロスカントリー５ｋｍ（フリー） ・リレー（５km×３人　１走クラシカル　２・３走フリー） ・スペシャルジャンプ（公開競技） ・ノルディックコンバインド（公開競技）

４　日　　程

月　日	時　刻	競　技　内　容	会　　場
２月４日（木）	8:00	アルペンコース公開	花輪スキー場ジャイアントコース
	9:00	クロスカントリーコース公開	花輪スキー場クロスカントリーコース
	9:30	ジャンプコース公開	花輪シャンツェ
	16:00	女子ジャイアントスラロームＴＣＭ・ドロー	鹿角トレーニングセンター「アルパス」
２月５日（金）	7:30	クロスカントリーコース公開	花輪スキー場クロスカントリーコース
	8:30	ジャンプ種目ＴＣＭ	鹿角トレーニングセンター「アルパス」
	9:00	女子ジャイアントスラローム	花輪スキー場ジャイアントコース
	9:30	ジャンプコース公開	花輪シャンツェ
	10:00	クロスカントリーＴＣＭ	鹿角トレーニングセンター「アルパス」
	15:00	開会式	鹿角市文化の杜交流館「コモッセ」
	16:00	男子ジャイアントスラロームＴＣＭ・ドロー	鹿角トレーニングセンター「アルパス」
２月６日（土）	9:00	男子ジャイアントスラローム	花輪スキー場ジャイアントコース
	9:00	スペシャルジャンプ公式練習	花輪シャンツェ
	引き続き	ノルディックコンバインドジャンプ予備ラウンド（PCR）	
	10:00	女子クロスカントリー５ｋｍ（クラシカル）	花輪スキー場クロスカントリーコース
	13:00	男子クロスカントリー１０ｋｍ（クラシカル）	
	16:00	女子スラロームＴＣＭ・ドロー	鹿角トレーニングセンター「アルパス」
２月７日（日）	9:00	女子スラローム	花輪スキー場ジャイアントコース
	9:00	女子スペシャルジャンプ（公開競技）	花輪シャンツェ
	引き続き	男子スペシャルジャンプ	
	引き続き	女子ノルディックコンバインドジャンプ（公開競技）	
	引き続き	男子ノルディックコンバインドジャンプ	
	9:30	女子クロスカントリー５ｋｍ（フリー）	花輪スキー場クロスカントリーコース
	12:00	男子クロスカントリー１０ｋｍ（フリー）	
	14:00	女子ノルディックコンバインド クロスカントリー５ｋｍ（フリー）（公開競技）	
	14:30	男子ノルディックコンバインド クロスカントリー１０ｋｍ（フリー）	
	16:30	男子スラロームＴＣＭ・ドロー	鹿角トレーニングセンター「アルパス」
２月８日（月）	9:00	男子スラローム	花輪スキー場ジャイアントコース
	9:30	女子リレー（５ｋｍ×３人）	花輪スキー場クロスカントリーコース
	11:00	男子リレー（１０ｋｍ×４人）	
	15:00	閉会式	鹿角トレーニングセンター「アルパス」

5　競技規則

（公財）全日本スキー・スノーボード連盟競技規則最新版に準拠した（公財）全国高等学校体育連盟スキー専門部規定によるほか、本大会要項による。

6　引率・監督

(1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則78条の２に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、都道府県高体連会長に事前に届け出る。

(2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は、傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等)に必ず加入すること。但し、各都道府県における規定があり、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であればその規定に従うことを原則とする。

7　参加資格

(1) 選手は、学校教育法第１条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。

(2) 選手は、都道府県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、スキー専門部に登録し、学校所在地の都道府県において、（公財）全日本スキー・スノーボード連盟にＳＡＪ会員登録とＳＡＪ競技者登録（ＳＡＪデーターバンク登録者一覧に記載された者）を完了し、当該競技実施要項により全国大会の参加資格を得た者に限る。但し、都道府県高体連に専門部が設置されていない種目については、加盟校の生徒であることとする。

(3) 年齢は、2007年（平成19年）４月２日以降に生まれたものとする。但し、出場は同一競技３回までとし、同一学年での出場は１回限りとする。

(4) チーム編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。

(5) 複数校合同チームの大会参加は認めない。但し、統廃合の対象となる学校については、統廃合完了前の２年間に限り合同チームによる大会参加を認める。

(6) 転校後・転籍後６カ月未満の者は同一競技への参加を認めない（外国人留学生もこれに準ずる)。但し、一家転住など、やむを得ない場合は、各都道府県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。大会開始前のエントリー変更期限前に６カ月が経過し、出場資格が発生した場合、団体競技種目や団体戦では、エントリーの変更のルールがある場合には、そのルールに従って変更を認める。

(7) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属する高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。

(8) 参加資格の特例

①上記(1)、(2)に定める生徒以外で、当該競技実施要項により大会参加資格を満たすと判断され、都道府県高等学校体育連盟会長が推薦した生徒について、大会参加資格の別途に定める規定に従い大会参加を認める。

②上記(3)の但し書きについて、学年の区別を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技３回までとする。

【大会参加資格の別途に定める規定】

1　学校教育基本法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
2　以下の条件を具備すること。
(1) 大会参加資格を認める条件
①本連盟の活動の目的を理解し、それを尊重する。
②参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、広域通信連携校の生徒による混成は認めない。
③各学校にあっては、都道府県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。
④各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失しておらず、運営が適切であること。
(2) 大会参加に際し守るべき条件
①大会開催基準要項を遵守し、競技種目別大会参加申合事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
②大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害・賠償責任保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
③大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

8　出場制限

(1) １校からの出場選手について、アルペン種目及びクロスカントリー種目は、１種目男女とも３名以内とし、補欠は両種目とも１名とする。但し、エントリー数が都道府県出場枠に満たない場合、その都道府県出場枠内順位で当該校４番目の選手（追加枠）の出場を認める。ジャンプ種目（スペシャルジャンプ、ノルディックコンバインド）は、制限を加えず、補欠は存在しない。但し、いずれの場合も都道府県予選通過者に限る。リレーは１チームとする（男子は６名連記、女子は５名連記)。また、出場選手は１人２種目以内とする。但し、リレーはこの限りではない。
(2) 令和８年度都道府県種目別出場人員枠を別表１のとおりに制限する。
(3) 予選会の開催が不可能な都道府県は、当該高等学校体育連盟スキー専門部長及び各都道府県高等学校体育連盟会長の推薦によって出場することができる。
(4) （公財）全日本スキー・スノーボード連盟推薦による海外派遣等のため、各都道府県予選会に出場できなかった者は、所定の手続きの上、その都道府県の枠外で本大会に出場できる（海外特枠選手)。但し、この場合は、補欠選手との交代はできない。
(5) 開催都道府県は、各種目３名、リレー１チームの増を認める。
(6) 補欠選手は、各都道府県の予選会において、その都道府県の出場枠内順位であって各校出場枠（追加枠含む）外にあった場合、その種目該当校に１名の補欠選手を認める。補欠選手を設けた場合は、補欠選手の数だけ予選会の順位を繰り上げてエントリーすることができる（各都道府県の出場枠に、補欠選手は含まない)。
(7) 出場選手のランキングは、各都道府県予選会の順位とする。但し、補欠選手及び１校出場枠を超える選手があった場合は、繰り上げランキングとする。追加枠のランキングについては、予選会順位順で追加枠のランキングとする。
(8) 外国人留学生の参加については、男女とも１校１名までとする。
(9) 女子ジャンプ種目（スペシャルジャンプ、ノルディックコンバインド）（公開競技）においては、在学する学校の校長及び所属する都道府県高等学校体育連盟会長の承認を得るものとする。

9　スタート順

スタート順は次のとおりとする。

(1) アルペン種目は、男女とも３グループ内でＳＡＪポイント順とし、第１グループ内の第１シード選手15名及び各グループ内のＳＡＪノーポイント・同ポイントの選手においては､10.(1)の抽選によりスタート順を決める。

(2) クロスカントリー種目は、第３、第４、第２、第１グループ順を原則とする（リレーは除く）。

(3) ジャンプ種目は、第１、第２、第３、第４、グループ順を原則とする。

(4) ノルディックコンバインド種目のクロスカントリー 10km は、グンダーセン方式とする。

(5) 補欠選手と正選手の交代は、当該種目実施前日の午後４時までに大会実施本部において受け付け、組織委員会の判断において決定する。交代が認められた選手は、アルペン種目についてはＴＣＭで連絡する。併せて、大会実行委員会のウェブサイトで告知する。

(6) アルペン種目の補欠選手との入れ替えは、正選手のグループ内へ補欠選手を入れ、ドローは補欠選手が保有するＳＡＪポイントにて行うこととする。

10　抽　　選

(1) アルペン種目は、各競技日前日のＴＣＭで行う。

(2) ノルディック種目は、あらかじめ仮出発番号を定めるものとし、各都道府県の出場制限数によって各グループの仮出発番号の抽選を行う。

(3) 抽選方法は次のとおりとする。

①アルペン種目は３グループに、ノルディック種目（リレーは除く）は４グループに区分する。

②ノルディック種目のグループ分けは、出場枠に応じてランキング１から順に第４グループから割り振る。以下、第３・第２・第１グループまで均等に分ける。

③アルペン種目は、９．(1)に記載のとおり、第１グループ内のＳＡＪポイント上位15名を第１シードとして抽選する。また、各グループ内のＳＡＪノーポイント・同ポイントの選手も抽選によりスタート順を決める。

④各グループ別人数については、アルペン種目は都道府県出場枠人数、ノルディック種目は出場実人数とし、別表２により区分する。

⑤（公財）全日本スキー・スノーボード連盟推薦による海外特別枠選手の区分は、アルペン種目は第１グループ、ノルディック種目については第４グループの後に位置し、それが複数の場合は、抽選でスタート順を決める。

11　採点方法

(1) 入賞得点は次のとおりとする（女子公開競技は点数計算に入らない)。

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
得点	11	9	8	7	6	5	4	3	2	1

(2) 個人入賞で同順位の場合は、次位を空席とし該当する得点を合計し、同順位者数で割った点数を得点とする。

(3) 総合優勝は総合最高得点校であり、同点の場合は各種目の上位入賞者数（３位まで）により決定する。なお、それでも決定しない場合は、リレー競技の順位により決定する。

(4) 総合の２位以下の順位決定は得点順とするが、同点の場合は同順位とし、次位を空席とする。

(5) 海外特枠選手を出場させている学校で、１校４名以上の出場となった場合、学校対抗得点対象選手３名を指定して申し込み、申し込み後の変更は認めない。また、各種目において、１校４名以上の出場となった場合、学校対抗得点対象選手３名を指定して申し込み、申し込み後の変更は認めない。但し、対象外者の得点は次位者に与える。

(6) 前項８．出場制限(1)に示す追加枠の選手については、得点対象としない。

12　表　　彰

(1) 総合の部

①優勝校には、男女とも（公財）全国高等学校体育連盟会長杯及び文部科学大臣杯を授与する。(持ち回りとする)

②賞状は、男女とも１位から６位まで授与する。

③優勝校には、男女ともＮＨＫ杯及び読売新聞社杯を授与する。

④表彰は閉会式において行う。

(2) 種目別の部

①男女とも１位から10位まで賞状を授与する。(追加枠を含む)

②男女とも各種目３位まで（公財）全日本スキー・スノーボード連盟制定のメダルを授与する。

③表彰は各競技終了後、鹿角トレーニングセンター「アルパス」で行う。

④競技最終日の男子スラローム及び男女リレー競技の表彰は､鹿角トレーニングセンター｢アルパス」で閉会式前に行う。

⑤女子ジャンプ種目（スペシャルジャンプ、ノルディックコンバインド）（公開競技）は、（公財）全国高等学校体育連盟スキー専門部で６位まで表彰する。

13　参加申込

(1) 申込書類

①	大会参加申込通知書	(様式１)
②	都道府県選手団役員編成表	(様式２)
	※選手団役員の編成は、団長・副団長・総監督・総務・種目別監督各１名とする。	
③	種目別参加申込書	(様式３Ａ・３Ｎ)
④	都道府県別リレー参加申込書	(様式３Ｒ)
⑤	学校別出場認知書【男女別とする】	(様式４)
	※各学校の監督・マネージャーはそれぞれ３名以内とする。 また、ＳＡＪ競技者管理番号の記入のないものは受け付けない。	
⑥	都道府県選手団 宿泊申込書	(様式５)
⑦	学校別 宿泊申込書	(様式６)
⑧	都道府県役員 宿泊申込書	(様式７)
⑨	視察申請及び宿泊申込書【視察員を派遣する都道府県のみ】(様式８)	
⑩	都道府県予選会の公式記録（リザルト）　１部 （リザルト形式でない場合、順位、タイムが明記されており、専門委員長の印があること)	
⑪	参加承諾願い（海外特別枠）(写し)	(様式９)

(2) 申込方法

①各参加校の業務（第76回大会の様式を使用すること）

下記の書類を作成し、各都道府県申込責任者へ提出する。

（様式４）学校別出場認知書

※選手氏名の漢字、学年、生年月日、ＳＡＪ競技者管理番号などを確認する。

（様式６）学校別宿泊申込書

②各都道府県申込責任者（各都道府県専門委員長）の業務

ア　上記(1)の申込書類を作成及び取りまとめる。

（様式３Ａ）（様式３Ｎ）種目別参加申込書

（様式３Ｒ）都道府県別リレー参加申込書

※選手氏名の漢字、学年、生年月日、ＳＡＪ競技者管理番号などを確認する。

また、（別表１）都道府県出場枠、（別表２）抽選グループ別人数を照らし合わせ、枠数、グループについても確認する。

イ　申込期限までに、全ての書類を下記実行委員会事務局に電子メールで送信し、原本は郵送する。
※（様式１）、（様式４）、（様式９）の公印及び公式記録のサインの有無を確認する。
ウ　申込書類（様式１）、（様式４）、公式記録及び参加承諾願い（海外特別枠）の送付は、「簡易書留速達」とし、封筒には「大会申込書在中」と朱書きし郵送する。
エ　参加料・プログラム代金（合計金額）の送金は「銀行振込」とする。振込金受領書のコピーを申込書類とともに下記実行委員会事務局に郵送する。
※振込人には、「都道府県名　氏名」のように、必ず**都道府県名**を明記する。
オ　申込期限に遅れたもの、申込書類に不備があるものは受け付けない。
カ　申し込み後の選手（補欠を含む）の変更は認めない。

(3) 申 込 先

〒018-5292
秋田県鹿角市花輪字荒田４番地１
鹿角市教育委員会スポーツ振興課内
７６インターハイ秋田県実行委員会事務局
TEL　0186-30-1141
FAX　0186-30-1140
E-mail　ski-kazuno@city.kazuno.lg.jp
大会HP　https://www.ski-kazuno.com/r8ski-ih-kazuno/

(4) 申込期限
参加申込書類一式：令和９年１月１９日（ 火 ）正午必着

(5) 参 加 料（選手のみ、女子公開競技選手も含む）
個　人：１種目4,500円
リレー：男子１チーム8,000円、女子１チーム6,000円
【※参加申込みと同時に納入する】

(6) プログラム
プログラムは、参加選手・マネージャー全てが購入するものとする。なお、参加校には男女各１部を無料配布する。代金は１部1,500円とし、申し込みと同時に参加選手数分を参加料と合わせて納入すること。

【振 込 先】

金融機関名	秋田銀行　花輪支店
店　番　号	２５４
普 通 口 座	１０８７１０２
口 座 名 義	７６インターハイ秋田県実行委員会　会長　中田善英 (ﾅﾅﾛｸｲﾝﾀｰﾊｲｱｷﾀｹﾝｼﾞｯｺｳｲｲﾝｶｲ ｶｲﾁｮｳ ﾅｶﾀﾖｼﾋﾃﾞ)

14　宿　　泊

宿泊申込については、指定された方法・締め切り期限厳守で申し込むこと。詳細については、「宿泊・弁当要項」を参照のこと。

15　傷害処置

出場選手が競技中に傷害を負った場合は、主催者が応急処置を行い、必要に応じて救急車を要請する。以後は各学校で処置するものとする。

16　注意事項

(1) 参加選手は、万一の事故に備えて傷害・賠償責任保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じること。

(2) 出場選手は、必ず引率責任者によって引率され、引率責任者はすべての行動に対して責任を負う。

(3) 都道府県選手団代表者は、大会実施本部で受付を済ませること。
受付開始：令和９年２月２日（火）～【午前９時００分～午後４時３０分まで】
受付場所：鹿角トレーニングセンター「アルパス」

17　大会実行委員会事務局及び大会実施本部

(1) 大会実行委員会事務局

〒018-5292
秋田県鹿角市花輪字荒田４番地１
鹿角市教育委員会スポーツ振興課内
令和８年度全国高等学校総合体育大会
第７６回全国高等学校スキー大会
７６インターハイ秋田県実行委員会事務局
TEL　0186-30-1141
FAX　0186-30-1140
E-mail　ski-kazuno@city.kazuno.lg.jp
大会HP　https://www.ski-kazuno.com/r8ski-ih-kazuno/

(2) 大会実施本部（１月２５日～２月１０日）

〒018-5201
秋田県鹿角市花輪字百合沢８１－１
鹿角トレーニングセンター「アルパス」内
令和８年度全国高等学校総合体育大会
第７６回全国高等学校スキー大会実施本部
TEL　0186-●●-●●●●
FAX　0186-●●-●●●●
E-mail　ski-kazuno@city.kazuno.lg.jp

18　個人情報及び肖像権に関わる取扱い

(1) 大会プログラムや掲示板等に掲載され、競技場内でアナウンスされることがある。また、大会関係ウェブサイトに掲載されることがある。

(2) 本大会実行委員会に認められた報道関係機関が撮影した映像・写真・記録等は、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載されることがある。

(3) 大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとして、これ以外の目的に使用することはない。参加申込書類の提出により、上記取扱いに関する承諾をいただいたものとして対応する。また、大会役員、競技役員、大会関係者及び会場に来られる観客の皆様についてもこれに準ずる。